



体育大会がいよいよ近づいてきました！

日ごとに初秋を感じるさわやかな空気が感じられるようになり、体育大会も目前に迫りました。前回の学校だより臨時号No.1では、台風21号とその後の大雨による体育館や校舎の被災に負けず、体育大会を目標に、子どもたちも先生方も力を合わせて日々練習に頑張ってくれている様子をお伝えしましたが、今は準備も練習も大詰めを迎え、胸が熱くなる思いで見えています。

さて、今回の体育大会は、体育館と同じ管理棟のほとんどの教室が正常に機能していないため、あらゆる事態への対応を想定しています。安全を第一に、大会中も、被災による安全管理を例年よりも念入りに行えるような体制づくりを整えています。

そのため、昨日は別紙プリントにて突然の「お願い」をさせていただくことになりました。直前にご無理をお願いすることは大変申し訳なかったのですが、子どもたちが逆境に負けず練習してきた体育大会を成功させるために、ご理解とご協力をいただけましたら幸いです。

これまでも保護者の皆様には、学校の電話も不通になる等、様々なご不安やご不便をおかけしてきたにもかかわらず、温かく見守り子どもたちを支え、励ましていただいておりますこと、改めて一番に心より感謝申し上げます。

また、他の小中学校や地域の皆様からも多大なご支援や励ましをいただいていることも、お知らせいたします。教育長自ら本校に足を運んで撮影された本校の体育館の様子を発信してくださる等、市を挙げて復旧工事の早期着工に向けて動いてくださっています。トライやるウィークの中学生も、天井から階段や廊下に流れて溜まった水を、懸命にぞうきんやウレタンで吸い取ってバケツに移す作業や、子どもたちが演技する場所の草抜きをしてくれました。近隣の小・中学校は、小学校生活最後の体育大会になる6年生のために体育館を貸していただきました。他の学校からも早くから支援申し出のお声をいただいております、さらには、当日の来校者への「お願い」事項が守られるよう、呼びかけや見回りまで地域の方々がすすんで引き受けてくださっています。感謝の気持ちでいっぱいです。

放送室も浸水したため、今はチャイムも校内放送も鳴らず、ハンドベルの音や時計を基準に全校が行動しています。一時は体育大会も音響が使えず無理かと思われました。が、別のところから電気をひく等、職員や業者の方の工夫で、何とか本番が迎えられるような準備ができました。演技をする子どもたちの声も、自信がつくと同時に大きくなってきました。

感謝の気持ちを胸に、日々の練習や準備そして当日の力いっぱいの演技を子どもたちが披露できるよう力を合わせて最善を尽くしてまいります。

当日、どうか好天に恵まれますように！



チャイムや放送が鳴らないので「ハンドベル」が合図です